

福島を忘れるな！無視するな！
—「狛江の放射能を測る会」からの精神—

石川 巖

東日本大震災・福島第一原発事故から 14 年、事故の時間的・空間的・社会的な被害は収束せず、深刻化している。その事故の教訓を生かさず、見ようとしめない危険な動き、原発を最大限活用路線への転換が強行された（第 7 次エネルギー基本計画）。正気の沙汰ではない。

この転換は、福島の実情、惨状を無視して議論され、決められた。福島の実情・惨状を無視して原発はじめエネルギーの問題を議論することは出来ないはず、あってはならない。

いわき市民訴訟原告団の元団長であり、闘いの先頭に立っている（同時に、私達の福島調査に常に協力・支援を頂いている）伊藤達也氏のアピールを柱にしてこの問題に切り込みたい。

【福島の実態】

何より、原発事故の被害を受けた人たちの実情である。

①避難者の帰還状況... [「原発と気候危機を考える狛江の会ニュース」

号外（2023/4/25 発行）を基に]

避難指示区域を有した 12 市町村で、元の地域に戻ってない避難者の数は最大 8 万人、どんなに少なくとも 4 万 7000 人にのぼります。

8 万人：震災発生時の 3.11 の住民登録状況は 147,428 人に対し、僅か 2 年前 2023 年 1 月 12 日現在の居住者数は 64,776 人。つま

り

82,662 人（56.0%）の住民が戻ってない...推定の根拠。

4 万 7000 人：現時点で住民登録している人から実際に住んでいる人の数を引いた（伊藤達也氏）数。しかし、住民登録を別の市町村に移した人もいるし、さらには新しい住民もいます。だから最低限の数字。

ところが、国が避難者と認めている人数は 25000 人です。大きな開き

があります。

復興公営住宅に入居した人は「終の棲家」にいるのだからもう「避難者」ではない！との理由で除外し、区域外に住居を購入した人も除外して、避難者の数を意図的に少なくしている。例えば、現在もいわき市内に住んでいる 16000 人余りの避難者はゼロと扱われています。

“何を言うか!!復興公営住宅へは誰も好んで入った訳では無い。みんな「終の棲家」を持ち、穏やかに暮らしていた。放射能で追い出されたのではないか!!”。

【小中学校】避難指示が解除された区域での小中学校の通学者数 24 年度で 15%に過ぎません。

②進まない人口回復（「東京新聞」2025/1/16）

2025/1 時点居住者数（2011 年 3 月 11 日の人口と比較）

檜葉町	58%	4477 人
葛尾村	30%	457
飯舘村	25%	1509
富岡町	16%	2579
浪江町	11%	2256
大熊町	8%	879
双葉町	3%	182

およそ復興といえるレベルではありません。

③産業の復活は

福島県の漁獲量：震災前の 20%。そこへ汚染水の海洋放出で追い打ち。漁業者との約束の明白な違反。

水稻の収穫量：全県で事故前の 70%台、役場毎移転した 9 町村では

13.9%へと激減し、産業が破壊されたまま。

他方、国が 7 年間で 1 千億円をつぎ込む「福島イノベーションコースト構想は、他人がいなくなった土地を自由に使いロボット、航空宇宙など「先端技術」開発をすすめている。しかし、地元住民の望むものとは無縁である。

④帰還困難区域の存在...復興とは程遠い現実。例として。

双葉町：町の 85%が居住できない帰還困難区域に指定され、立ち入りには許可が必要（赤旗日曜版 2025/3/9・16）。

「...復興のゴールが描けねえ。放射能濃度問題が片付くまでなん百年かかるのか...」。

浪江町津島：津島の総面積の約 1.6%が「特定復興再生拠点区域」に指定され、2023 年 3 月に解除になったが（私達の「会」は 4 月 5 日に

津島を訪問）、98.4%は手付かずのまま帰還のめどは立っていない。（「ふるさと津島を映像で残す会」）。

14 年たってもこの状態、何も変わって無い。

⑤「避難者」の苦しみ...ひとくちに言えない

避難者は、避難することで自分が望んだ土地に住み続けることができなくなった結果、これまで築いてきた人生を台無しにされ、将来設計をねじ曲げられてしまったのです。「ふるさと」を奪われ、人と自然、家族友人の関係を切り離されてしまいました。

早稲田大学の辻内琢也教授は、事故から 14 年近くたっても「避難者の 4 割が PTSD(心的外傷後ストレス障害)を疑われている」。これは「ふるさとが剥奪」され、「コミュニティが破壊」され「家族が崩壊」したことにあると指摘しています。

もし私が同じ立場に立たされたら、耐えきれぬかどうか自信がありません。

⑥浪江町の「ふるさとを返せ！津島原告団」はこの宝物のふるさとの原状回復を一番の目標として掲げました。裁判で原告団の三瓶春江さんの 33 歳の娘さんが、“...私は、好きな人と結婚がしたい。...被曝をしているため生まれてくる子供は本当に大丈夫なのか...”と意見陳述しました。

その三瓶春江さんの悲痛な叫びが「思い出の家 涙の『看取り』」の大見出しで、今朝の「東京新聞」に載った。自宅が解体される様子を悲しげに見つめる三瓶さんの写真とともに。私には衝撃だった。

避難指示区域に指定された後、家には動物が入り、荒れ放題になった。23 年 3 月に避難指示が解除され、その後 1 年以内に自宅解体を決断しないと解体費用を国から受けられず、子や孫に負の遺産を残すことになる。昨年 11 月、家族で津島のいえに最後のお別れをした。

避難指示が解除されたから、“晴れて我が家に帰れる”のではなく、逆に自宅を解体しなければならない現実、こんなむごいことがあるか!!。

こうした不安・苦しみを与えておきながら国は原発事故の責任を一切認めません。

原発は幸せではなく、不幸をもたらしました。そのことを予見し警告

して国・東京電力と闘いつづけ、亡くなられた方もいます。

こういった実態にほとんど触れず、原発の最大限活用が必要だなどは福島県民を愚弄した暴論で、決して許されません。

再び大事故を起こす危険をなくすため、「原発最大限活用」するエネルギー基本計画を撤回し、再稼働も新設もやめることを日本政府に求めます。

以 上

2025 年 3 月 11 日 狛江駅頭でのスピーチ原稿 (福島原発事故に関連する奇跡) 須貝光典

皆さん、こんにちは、狛江駅をご利用の皆さん、こんにちは、私は「考える会」の須貝といいます。正式名称は【原発と気候危機を考える会】です。今日は3月11日です。2011年に起きた福島原発事故を振りかえり、原発の廃止に向けた運動を広げて行きたいと思い、この場をお借りしまして、訴えをさせていただきます。

今日は、「福島原発事故に関連する奇跡」について話をさせて頂きたいと思います。

福島原発事故に関して書かれた書籍を読んでこの事故の経過を振り返ってみると、非常にたくさんの「奇跡」としか考えられない現象が目につきます。それも一つや二つではありません。私が数えたところ10を超す「奇跡」がありました。

「奇跡」の話をする前に、まず初めに、「福島原発事故の流れ」、それも、地震発生から2号機の圧力低下までの4日間に限って紹介したいと思います。

地震発生：2011年3月11日午後2時46分頃

第1波：3月11日午後3時27分頃来襲

第2波：3月11日午後3時35分頃来襲

1号機：3月12日午後3時36分水素爆発

3号機：3月14日午前11時1分水素爆発

4号機：3月15日午前6時10分水素爆発

2号機：3月15日午前7時20分～11時20分の間に2号機圧力が何らかの原因で低下しました。

そして年末12月に「冷温停止」状態になりました。しかし、第一原発は現在も原子力緊急事態宣言発令中です。いつどんなことが起こるかわからない状態が続いているということです。

次にどのような「奇跡」があったのか、はじめの9つを紹介して、その「奇跡」の中で特徴的な4号炉で起きた「奇跡」を具体的に説明したいと思います。第2～第5までが4号機に関する奇跡ですが、その前に、第一の奇跡です。

第1：3.11前に重要免震棟が完成していた。(8ヶ月前の2010年7月より運用が開始、しかし、2004年10月23日の新潟県中越地方の地震がなかったら、この免震重要棟は作られていなかった。

Fukushima 50 主演は渡辺謙と佐藤浩市、Amazon Prime Video、この免震重要棟が無かったらと思うとゾッとする)

第2：4号機の原子炉ウェルの水がたまたま抜かれていなかった。(4号機には1535体もの核燃料が高さ50メートルある原子炉建屋の最上階のプールの中に保管されていた。これが溶解すると、内閣府原子力委員会委員長作成の「最悪のシナリオ」の通り、半径250Kmの3500万人が避難せざるを得ない事態になり、東日本崩壊が迫っていた。)

第3：4号機の原子炉ウェルの水と使用済み核燃料プールの中の仕切り壁がずれた。(水は蒸発する。いずれ注水が必要、方法はプールの上から水をいれること、しかし屋根がある。)

本当は、震災直前の工事の不手際と、意図しない仕切り壁のずれという二つの偶然もあって救われていたのが現状です。4号機の使用済み燃料プールの横の冷却用の水は、東日本大震災発生4日前の3月7日に外部に抜き取られる予定だったが、改修工事の不手際で工程が遅れ、その結果として燃料貯蔵プールのそばに大量に存在しており(本来ないはずの水があったのは原子炉ウェルとDSピットで、それは原子炉圧力容器の上蓋の真上とその横にある縦穴で、使用済み燃料プールと隣り合っている。水は本来ずれてはいけな仕切り壁のずれでできた隙間を通してプールに流れ込んでいた。4号炉の使用済み核燃料が熱崩壊しなかったのは、まさにこの奇跡のおかげです。水が抜かれていなかった奇跡、工事を2週間もずらした奇跡(1日5億円)、地震でもずれてはいけな仕切板がずれて水が使用済み燃料プールに入ってきた奇跡。ただ、これだけでは危機を免れることはできません。これらの水も、いずれは崩壊熱で蒸発してしまうからです。ところが、次の奇跡が起こります。それが第4の奇跡です。

第4：4号機の屋根が3号機の水素爆発でちょうど良い具合に壊れた。3号機の屋根は水素爆発でちょうど良い具合に壊れ、がれきは3・4号炉の使用済み核燃料プールに当たらなかった。

(屋根がぐわいに飛んで上空から燃料プールが見えるようになったが、3月17日からの**自衛隊のヘリでの放水は効果なし**。消防庁の放水車の上の長さは33mでは燃料プールまで届かない。)

第5：4号機に水を入れるための大キリンが手配できた。

消防庁の放水車の上の長さは33mでは燃料プールまで届かない。自衛隊のヘリでも水は投入できない。3月末までに核燃料は露出する。事故の推移をみていた、日本の留学経験があり、日本で起業していた中国出身の龍潤生さんが、自身が販売代理店を務める中国の建設機械企業・三一重工が高層ビルの

建設などで使用される世界一長い 62 メートルのアームを持つコンクリートポンプ車を製造していたことを思い出す。中国企業の三一重工は 1 億 5 千万円するこのポンプ車を寄付してくれました。3 月末から注水を開始し、冷却が進みました。しかし、依然として福島第一原発は原子力緊急事態宣言下にあります。

皆さん、我々は原発の危険性を我々は福島第一原発事故で既に知っていると思います。原発を止めたいと考える人が、『原発をやめる』という政党・政治家に、投票すれば、原発は本当にやめられます。地球温暖化で原発が必要と考える人もいますが、エネルギーは太陽光、風力などの再生可能エネルギーで賄えます。

最後に、日本政府には、以下の 4 項目を強く要求したいと思います。

第一に、 原発の稼働と再稼働を中止することです。全国で稼働している 8 発電所 13 基の原発を停止し (2025 年 2 月 10 日現在)、現在稼働停止している原発の再稼働は、絶対にしないこと。そして運転延長をしないこと、早急に原発ゼロの舵を切ることです。

第二に、 原発のリプレースを含む新增設を中止することです。

第三に、 気候危機に原発ではなく、再生可能エネルギーの活用を促進することです。

第四に、 福島第一原発の、トリチウムを含む汚染水の海洋放出はしないことです。

最後に能登震災支援の一環として使わなくなったパソコンを能登に送る活動をしています。これまで 10 台のパソコンを現地のボランティア団体に送りました。パソコンは現地の方が就職活動などに使っているということです。パソコンを買い替えて古いパソコンが家にある方はぜひ Web で検索して旧称の【狛江の放射能を測る会】に連絡ください。能登のボランティアグループに届けます。以上です。

2025 年 3 月 11 日の駅頭宣伝はここまでとします。

第 5 事故当時の風向きが西風で最悪の方角ではなかった。2/3 が太平洋に流れた。

第 6 3 月 15 日に 2 号機の内部圧力が何らかの原因で急低下した。

第 7 6 号機の非常用発電機の 1 台が生きていたため 5 号機を冷却できた。

2011年3月11日の福島原発 事故に関連する奇跡

福島県では、2011年3月の原発事故以降、2025年3月現在でも約8万人以上の方々が、避難をよぎなくされている。

今回の事故が現在の破壊状況で収まっているのは、まさにいくつかの奇跡のおかげ。

以下にあげることがひとつでも欠けていたら、今回の被害とは比べようもない巨大災害(カタストロフィ)になっていたと思われる。

【原発と気候危機を考える会】

須貝光典

福島原発事故の流れ

地震発生：2011年3月11日午後2時46分頃

第1波：3月11日午後3時27分 頃来襲

第2波：3月11日午後3時35分頃来襲

1号機：3月12日午後3時36分水素爆発

3号機：3月14日午前11時1分水素爆発

4号機：3月15日午前6時10分水素爆発

2号機：3月15日午前7時20分～11時20分の
間に2号機圧力が何らかの原因で低下

現在も原子力緊急事態宣言発令中

福島原発事故 奇跡の数々

- 第1 3.11前に重要免震棟が完成していた。
 - 第2 4号機の原子炉ウェルの水がたまたま抜かれていなかった。
 - 第3 4号機の原子炉ウェルの水と使用済み核燃料プールの間の仕切り壁がずれた。
 - 第4 4号機の屋根が3号機の水素爆発でちょうど良い具合に壊れた。3号機の瓦礫は3・4号炉の使用済み核燃料プールに当たらなかった。
 - 第5 4号機に水を入れるための大キリンが手配できた。
 - 第6 事故当時の風向きが西風で最悪の方角ではなかった。2/3が太平洋に流れた。
 - 第7 3月15日に2号機の内部圧力が何らかの原因で急低下した。
 - 第8 6号機の非常用発電機の1台が生きていたため5号機を冷却できた。
- その他。

福島原発事故 奇跡 – 第1

第1

3.11前に重要免震棟が完成

8ヶ月前の2010年7月より運用開始、
しかし、2004年10月23日の新潟県中
越地方の地震がなかったら、この免
震重要棟は作られていなかった。

福島原発事故 奇跡 – 第1

免震重要棟(2004年10月23日の新潟県中越地方の地震がなかったら、この免震重要棟は作られていなかった可能性が高い。この免震重要棟が無かったらと思うとゾッとする

映画:Fukushima 50 主演は渡辺謙と佐藤浩市(Amazon Prime Video)

免震重要棟は、災害発生時等に発電所の対策本部を設置する建物で、震度7クラスの地震が発生しても、初動対応に必要な設備の機能を確保できるように、地震の揺れを抑える免震構造を採用しています。



外観写真（福島第一）



外観写真（福島第二）

■福島第一・第二とも平成22年7月運用開始

福島原発事故 奇跡 – 第1

3.11前に重要免震棟が完成していた。

福島第一原発の重要免震棟が大震災前に完成しており、**8ヶ月前の2010年7月より運用が開始**されていた。事故後すぐに原発事故の収束のために、全ての作業員が寝泊まりしていたのが「免震重要棟」だった。これがなくては原発事故の収束はあり得なかった。そして**2004年10月23日の新潟県中越地方の地震がなかったら**、この免震重要棟は作られていなかったはずである。

福島原発事故 奇跡 - 第2

第2

4号機の原子炉ウェルの水がたまたま抜かれていなかった。— シュラウド工事の工具が合わなかったので工事を延期した。

4号機には1535体もの核燃料が高さ50メートルある原子炉建屋の最上階のプールの中に保管されていた。これが溶解すると、内閣府原子力委員会委員長・近藤駿介氏作成の「最悪のシナリオ」の通り、半径250Kmの3500万人が避難せざるを得ない事態になり、東日本の崩壊が迫っていた。

福島原発事故 奇跡 – 第1～第3（続き）

原発事故の最悪シナリオ

「福島第一原子力発電所の不測事態シナリオの素描」

近藤俊介内閣府原子力委員長 2013年3月22日作成

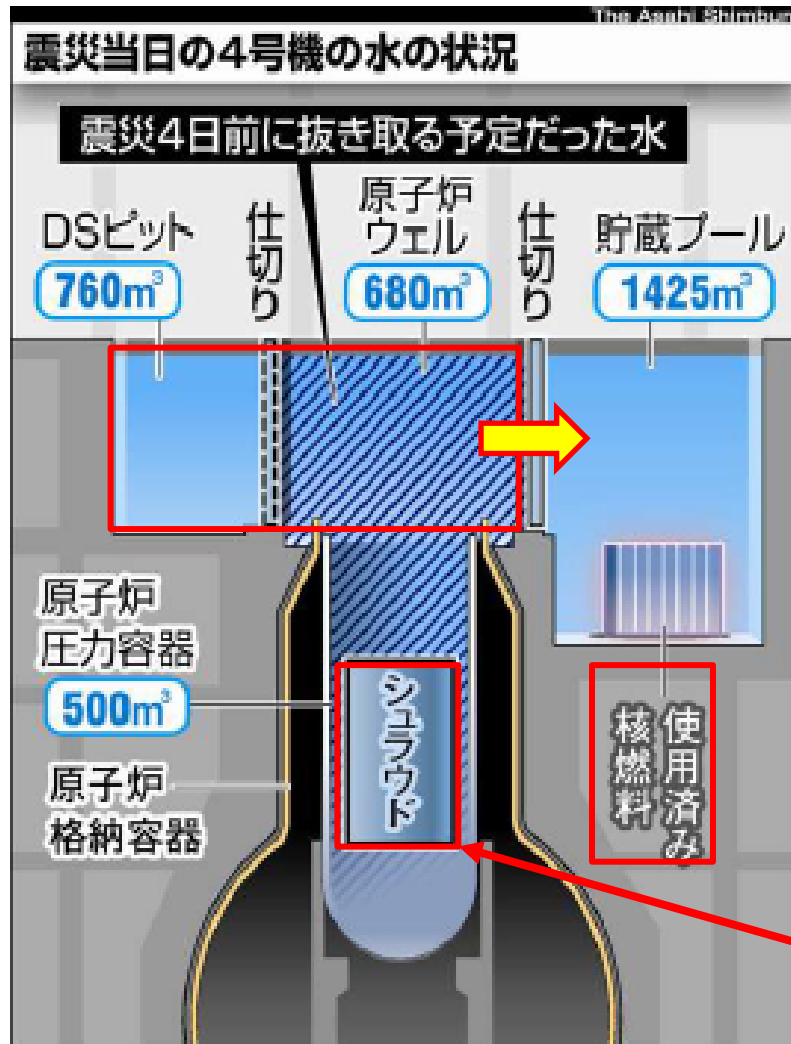
- ✓ ▫ **半径170キロ・メートル 圏内**
(チェルノブイリ原発事故強制移住範囲)
南東北や新潟県の一部、北関東の一部
- ✓ ▫ **半径250キロ・メートル 圏内**
(避難が必要)
東京都や埼玉県の大半、横浜市の一部

その対象は3,500万人

- ✓ 人が住めるようになるのは、自然減衰で**数十年**を要する。

福島原発事故

奇跡 - 第2



四号機の使用済み核燃料貯蔵プールに本来抜かれていたはずの水が入っていた。

シュラウド交換のために震災発生4日前の3月7日に外部に抜き取られる予定だった原子炉ウェルとDSピットの水が貯蔵プールの間の仕切り壁がずれたために使用済み燃料プールに流れ込んだ。東電はシュラウドの工事を延期していた。

シュラウド: 高さ7m、直径4.5m、重さ35トンの核燃料を支えるもの

福島原発事故

奇跡 – 第2(続き)

原子炉ウェルは、原子炉圧力容器の上蓋の真上にある縦穴で、使用済燃料プールと隣り合っている。**ふだんは原子炉ウェルには水はない**が、4号機は一昨年11月30日に11カ月弱の予定で定期点検に入り、東電によると、同年12月3日、原子炉のふたを開けた上で、ウェルに水を満たしたという。その北隣りにある「DSピット」と呼ばれる機器仮置きプールも、原子炉ウェルとの仕切りを外した状態で、同時に水を張ったという。そして、12月5日から10日にかけて、原子炉内の燃料を取り出して、使用済燃料プールに移した。

この**定期点検**では、4号機が1978年10月に営業運転を開始してからでは初めて、原子炉心にある「シュラウド」と呼ばれる隔壁(高さ6.8メートル、直径4.3～4.7メートル、重さ35トン)を交換する**予定**で、12月29日にその作業を始めた。炉内で古いシュラウドを切断した上で、原子炉ウェルを経由して、炉外のDSピットに取り出す作業は、無用の被曝を避けるため、すべて**水中で進められた**。東電によると、当初のスケジュールでは、取り出しを終えて、**3月3日にDSピットと原子炉ウェルの間に仕切りを入れ、3月7日までに原子炉ウェルや圧力容器の水抜きを完了**し、その後、ウェル経由で炉内に作業員が入り、5月ごろに新しいシュラウドの据え付けなどの作業を行うはずだった。ところが、東電によると、**シュラウド切断に使う工具を案内・制御するのに必要な「治具(じぐ)」の寸法が圧力容器のサイズに合わず、これを現場で改造しなければならなくなった**。このため、**3月11日の時点で、シュラウドの取り出しは終わっておらず、水抜きは3月下旬に17日ほどずれ込む見通しとなっていた**。「工期が遅れたことによって原子炉ウェルに水が張られた状況だった」と東電は説明している。

福島原発事故 奇跡 – 第3

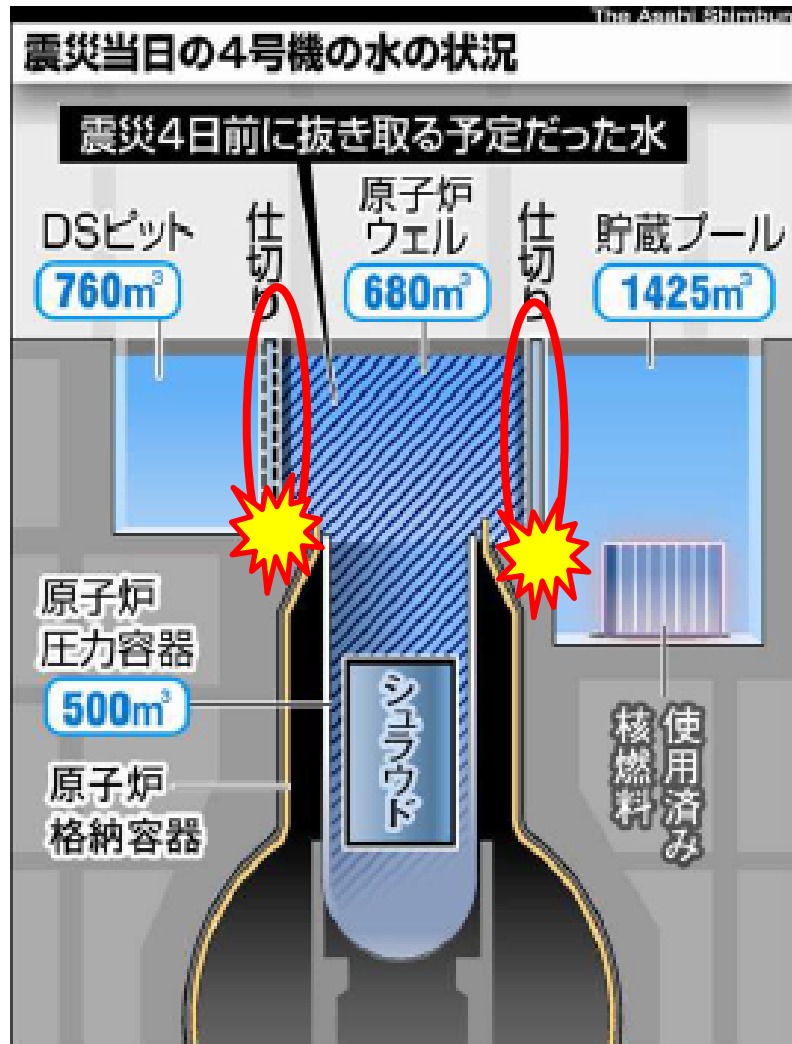
第3

4号機の原子炉ウェルの水と使用済み核燃料プールの間の仕切り壁がずれた。

地震でもずれてはいけなかったはずの仕切板がずれた。これがずれなかったら、核燃料プールに水は入らなかった。

福島原発事故

奇跡 - 第2～第3



原子炉ウェルとDS
ピットの水が貯蔵
プールの間の仕切り
壁がずれたために使
用済燃料プール流れ
込んだ。

しかし、なぜ流れ込
んだかは原因不明。
地震で壊れないはず
の仕切り壁が動いた
としか考えられない。

福島原発事故 奇跡 - 第4

第4

4号機の屋根が3号機の水素爆発でちょうど良い具合に壊れた。

その時、3・4号機の使用済み核燃料プールに瓦礫があたらなかった。

瓦礫が使用済み燃料プールに損傷を与えれば水がプールから漏れてしまう可能性があった。

福島原発事故

奇跡 - 第4(続き)

3号機の屋根は水素爆発でちょうど良い具合に壊れ、瓦礫は3・4号炉の使用済み核燃料プールに当たらなかった。



福島原発事故 奇跡 – 第4(続き)

水素爆発した3号機のがれきは3・4号炉の使用済み核燃料プールに当たらなかった。

3号機の水蒸気爆発で空中に飛び散ったがれきが、3号機および隣の4号機の使用済み核燃料プールを直撃しなかった。福島第一原発の、[3号機爆発を映像](#)でみると、相当大きながれきが爆発で舞い上がり、落下しているのがわかる。このがれきが3・4号機の使用済み燃料プールを直撃しなかったことは幸いだった。

なお、1号機のプールには、2015年8月現在使用済みが292本、未使用のものが100本(合計392本)、2号機には、使用済みが587本、未使用のものが28本(合計615本)ある。3号機の使用済み核燃料プールには未使用の54本と使用済みの核燃料が514本(合計566本)ある。

1号機～3号機の原子炉内には溶解した核燃料が1496本分ある。

福島原発事故 奇跡 - 第5

第5

4号機に水を入れるための
大キリンが手配できた。

中国の建設機械企業・三一重工が高層ビル
の建設などで使用される世界一長い62メー
トルのアームを持つコンクリートポンプ車
を製造していたことを思い出す。三一重工
は1億5千万円するこのポンプ車を寄付し
てくれた。3月末から注水開始し、冷却が
進み、危機は避けられた。

福島原発事故 奇跡 - 第5(続き)

自衛隊のヘリでの放水は失敗におわったが、三一重工の大キリンに救われた。



福島原発事故

奇跡 – 第5(続き)



建設などで使用される世界一長い62mのアームを持つコンクリートポンプ車(大麒麟)を製造していた中国企業の三一重工は1億5千万円するこのポンプ車を日本へ寄付。

3月末から注水開始し、核燃料の冷却が進んだ。

2011年3月11日の福島原発事故に 関連する奇跡

2025年3月11の駅頭宣
伝はここまでとします。

2011年3月11日の福島原発事故に 関連する奇跡

以下のページは付録です。

2015年に作ったものの一部です。今回は当時のものを改定しました。

福島原発事故 奇跡 - 第6

第6

事故当時の風向きが西風で最悪の方角ではなかった。放射能の2/3はが太平洋に流れた。

そのおかげで、太平洋にいたアメリカのロナルド・レーガン原子力空母の乗組員は被爆した。

福島原発事故 奇跡 – 第6(続き)

事故当時の風向きは最悪ではなかった。



福島原発事故 奇跡 – 第6(続き)

事故当時の風向きは最悪ではなかった。

事故があった時の風向きが西風で、高濃度の放射能を含んだブルームは主に太平洋側に行った。もちろん内陸部にも行き、飯舘村や原発周辺はもちろんのこと、福島の新幹線沿いの中通りの都市は高濃度の放射能に汚染された。さらに一時は東京でも水道水が飲めなくなった。

しかし、もし、風向きが北風で、福島第二原発が高い放射能で覆われたら福島第二原発もメルトスルーしていた可能性が高い。同時に二つの原発でメルトスルーが起きたら、初期の原子炉冷却に手が回らなかったはずだ。また、一番放射能が高かった日に北風が吹いていたら、東京を含む関東地方全域が高濃度に汚染され、日本は甚大な被害にあった可能性が高い。

福島原発事故 奇跡 – 第7

第7

3月15日に2号機の内部圧力が
何らかの原因で急低下して、2
号機の爆発が起きなかった。

推定としては同じ日に起きた4号炉の水蒸気
爆発が影響していると思われる。

福島原発事故 奇跡 – 第7

3月15日に4号機の水蒸気爆発があった。それと同時に2号機の内部圧力急低下し、爆発しなかった。

格納容器またはそれに接続されている配管のどこかの密閉が破れて内圧が下がった。格納容器は爆発しなかったが、2号機からは膨大な量の放射能が出たために、広範囲の汚染がおきた。2号機の内部圧力急低下したことの原因は不明だが、もし2号機の格納容器が爆発していたら、現在の規模の汚染・避難範囲ではすまず、東京を含む関東以北、青森以南の地域は数十年にわたって立ち入り禁止区域になり、3500万人の避難が必要だった。

福島原発事故 奇跡 - 第

『世界』11月号の海渡雄一弁護士の「日本はあの時破滅の縁に瀕していた - 朝日新聞バッシングがもたらす物言えぬ社会」より抜粋(続き)

「もし、線量の上昇が継続していれば、吉田所長以下の要員は1F内で急性放射線障害によって死にいたり、現場には他の作業員も戻ることはできず、2号機以外の原子炉も次々に最悪の事態を迎え、4号機の使用済み燃料プールも冷却不可能によって燃えだしていただろう。近藤原子力委員長が作成した最悪シナリオメモに記述された自体が現実となっていて差し迫っていた。」

福島原発事故 奇跡 - 第

6号機の非常用発電機の1台が生きていた。

福島第一原発の6号機の非常用発電機6台の内の1台が使えた。**これが使えなかったら、5、6号機もメルトスルーしていた可能性が高い。**そして、同時に二つの原発でメルトスルーが起きたら、手が付けられなかったはず。

福島発事故の奇跡(第二原発)

奇跡 - 第

現実には原発を襲った津波の高さは推定9メートル。そのまま津波は敷地を駆け上がり、最高18メートルもの高さに達した。

2メートル50センチくらいの水が入って、完全にポンプモーターは水に浸かった状況。

福島第一原発と同様に、第二原発もメルトダウンの危機被災した外部電源4回線のうち1回線だけ生き残っていたが、建屋につながっていなかった。

800メートルも離れた外部電源の1回線を、建屋まで人海戦術(200名)でケーブルを担ぎながら運び電源を確保したことで、ベントをする必要がなかった。

2011年3月11日の福島原発 事故に関連する奇跡

4つの原子炉の原発事故の原因がいまだに不明であるにも関わらず、政府は8月11日鹿児島県の川内原発を再稼働した。そして、停止中の原発の再稼働を行おうとしている。

福島県の避難者の健康に対する安全もできない状態での早期帰還や、再稼働はもちろん、新規原子炉の建設や原発輸出は許されない。